

## 平成30年度 第1回 天王寺区区政会議

日 時：平成30年7月26日（木）

午後7時01分～午後9時26分

場 所：天王寺区役所 3階 講堂

### 出席者

（区政会議委員）

井川委員・出水委員・一本松委員・江畑委員・小野委員・片岡委員・上戸委員

萱野委員・菊山委員・桑原委員・竹田委員・田中委員・辻委員・頓名委員

中谷委員・中野（浩志）委員・中野（佳弘）委員・中山委員・林委員・原田委員

平嶋委員・福永委員・松下（尚生）委員・松下（正克）委員・松本委員・三浦委員

三宅委員・山崎委員・吉田委員

出席29人／定数34人

（市会議員）

足高議員・金子議員

（天王寺区役所）

西山区長・吉村副区長・川畠企画総務課長・佐藤事業戦略担当課長

小埜危機管理課長・森市民協働課長・北吉未来人材育成担当課長

樋上窓口サービス課長・大島保健福祉課長・南野保健・生活支援担当課長

尾古貴企画総務課長代理・渡邊危機管理課長代理・岩上地域活動支援担当課長代理

東浦シティ・プロモーション担当課長代理・寺戸保険年金担当課長代理

平山福祉担当課長代理・羽根子育て支援担当課長代理

太田保健・生活支援担当課長代理

## ○佐藤事業戦略担当課長

定刻がまいりましたので、ただいまより、「平成30年度第1回天王寺区区政会議」を開催させていただきます。

私は、天王寺区役所事業戦略担当課長の佐藤でございます。どうぞよろしく願いいたします。

本日、配付済みの資料をご持参いただいておりますので、当日の配付資料について机上の目録とのご確認をお願いいたします。不足しているような資料がございましたら私どものほうにお声がけくださいませ。

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。

まず初めに、西山区長よりご挨拶申し上げます。区長、お願いいたします。

## ○西山区長

皆さん、こんばんは。天王寺区長の西山でございます。

本日はお暑い中、またお忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。また日ごろから区政運営に多大なご理解とお力添えをいただいておりますことを、この場をお借りして改めてお礼を申し上げます。ありがとうございます。

突然でしたけど、先月地震が起きて、また西日本の大雨ということで、自然災害が結構今頻発しておりますし、被害を受けられた方も多数いらっしゃいます。幸いにして天王寺区、どちらもほぼ被害報告はなかったんですけれども、よそごとではないと思っておりますし、また天王寺区は上町台地の上にありますので、いつまた大きな地震が来るかもわからないような状況でございます。そういう中で平素から地域の見守りですとか、子どもの安全とか、地域の安全・安心に改めて注力していきたいなと思っておりますので、またご協力をお願いします。

本日の議題は、「平成29年度天王寺区運営方針の実績と評価について」と、「今後取り組むべき事業について」の2点でございます。後ほど担当よりご説明申し上げますけども、前回の区政会議でいただきました皆さん方からのご意見を踏まえまして、

今回、テーマ別分科会方式で運営してまいりたいと思っております。皆さんに、以前アンケートで回答いただきました関心の高いテーマについて、様々なお立場からご意見含めましていただきたいなと思っております。それを今後の区政に活かしてまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしく申し上げます。

あと、この場をおかりしまして、大阪関西万博2025年の誘致に取り組んでおります。いよいよ11月に開催地が決定ということでございますので、より一層皆様方のお力をお借りしながら盛り上げていきたいなと思っております。

また、ちょうど7月30日から、区役所の1階のギャラリーで、万博記念館の白井さんという方にご協力いただきまして、万博グッズの展示を7月30日から8月24日まで開催しております。また、ご機会があれば足をお運びいただけたらなと思えます。講演会が8月19日、この3階の講堂で2時から予定しております。これも予約は要りませんので、またお時間が合えばふらっと寄っていただけたらなと思えます。どうぞよろしく申し上げます。

それでは、本日の区政会議を進めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

#### ○佐藤事業戦略担当課長

次に、議長、副議長よりご挨拶をいただきます。小野議長様よろしく申し上げます。

#### ○小野議長

皆さん、こんばんは。お忙しいところ本当にお集まりいただきましてありがとうございます。議長の小野でございます。本日はお暑い中ご出席をいただきご苦労さまでございます。ありがとうございます。

今年度1回目の区役所区政会議、このメンバーで迎えます2回目の区政会議となります。区長からもありましたが、今回から分科会方式で進行されるとのこと。いわゆる膝突き合わせて意見交換ということで、議論のほうも弾むんではないかと期待して

おります。会議では皆さんのこれまでの活動等を通じたさまざまな経験やご知恵をもとに区政に関する皆様のご意見をいただき、区役所もこれまで以上によりよい取組を進めていきたいと考えております。

なお、議事進行につきましては一本松副議長様にお願いし、私のご挨拶といたします。ありがとうございました。

**○佐藤事業戦略担当課長**

ありがとうございました。引き続きまして、一本松副議長様、お願いいたします。

**○一本松副議長**

こんばんは、皆様。お出ましにくいところ、また天候不順で今日もザーッと雨が降ってびっくりしましたが、皆様お元気でここに集まっていたいただいたことを感謝いたします。そして、この会議が天王寺区にとりまして有意義なものとなりますように活発なご意見をよろしくお願いいたします。

**○佐藤事業戦略担当課長**

ありがとうございました。

議題に入ります前に報告事項がございます。まず、本日ご出席の委員ですが、入場するときにお手渡しさせていただきました配席図のとおりでございます。個別のご紹介は割愛させていただきますので、よろしくお願いいたします。

次に、3名の委員の方から欠席のご連絡をいただいております。公募の玉井委員、区老人クラブ連合会の黒崎委員、公募の山本まゆみ委員、3名様からは所要により欠席ということでご連絡いただいておりますので、ご報告させていただきます。

また、区政会議には大変お忙しい中、足高先生、金子先生にご出席をいただいております。ありがとうございました。本日も議題の最後にご助言、ご意見をいただきますようお願い申し上げます。

また本日の会議は傍聴の方がお見えでございます。詳細は後ほどご説明いたしますが、本会議は分科会形式で進行してまいりますので、各班での議論の際に各テーブル

を回って傍聴いただいて差し支えありませんので、傍聴規定に従って各班の議事を見守っていただきたいと思います。

なお、本日の区政会議の様子につきましては広報紙等に掲載させていただきますので、会議中何枚かお写真の方をとらせていただきますこと、ご了承いただきますようお願いいたします。

それでは、運営方法の変更について簡単に説明いたします。開催通知でもご案内しておりましたが、分科会形式の運営でございます。これまでこの会議につきましては委員全員での審議を基本としまして、一部グループ審議により区政についてのご意見をいただいていたところでございます。しかしながら、委員数が前回の改選で増となりましたこと、また前回区政会議でいただきましたご意見を踏まえ、より活発な意見交換を可能とし、多くの委員の皆さんからご意見をいただけるよう、全体をテーマ、経営課題別に4班に分けさせていただきます。班ごとの審議を基本とする分科会形式で運営してまいりたいと存じます。

お手元の配席図ごらんくださいませ。シティ・プロモーション、子育て・教育、地域福祉・健康、地域社会づくりのテーマごとに4班に分かれてご審議いただきます。シティ・プロモーション班には経営課題5及びシティ・プロモーションに非常に関係が深い経営課題1をご担当いただきます。子育て・教育班には経営課題2を、地域福祉・健康班には経営課題3をご担当いただきます。地域社会づくり班には経営課題6及び地域社会づくりと密接に関係します経営課題4、安全安心の部分ですね、そちらをご担当いただきたいと思いますと考えております。

各班は8名ないし9名で構成させていただき、うち公募委員の皆さんに3名ずつ均等に参加いただいております。メンバー構成は就任時に関心の高いということでアンケートをとっておりまして、このアンケートをもとに基本、第一希望のテーマに優先して配置させていただいたところですが、一部テーマに偏りが生じたことから、一部の委員の方には大変申し訳ないところではありますが、第二希望に回って

いただきましたこと、ご了承いただければと存じます。

また、各班の議事進行は私を含め各施策、事業を所管します課長、課長代理が担当させていただきます。よろしく願いいたします。記録係もついて担当させていただきますので、よろしく願いいたします。

それでは、ここからの議事進行を一本松副議長をお願いいたします。

#### ○一本松副議長

議長の任に就かせていただきます。座って進行させていただきたいと思います。

本日は皆様のご協力のもと会議が有意義なものとなりますよう進めてまいりたいと思っていますのでご協力の方よろしく願いいたします。

初めに、佐藤課長より本日の流れを説明いたします。

#### ○佐藤事業戦略担当課長

まず、議題1につきまして、区長より自己評価結果の総括（概要）を説明の後、各班での審議に移ってまいります。班ごとに担当するテーマ、経営課題について概ねほぼ7時50分ごろまでご議論、取組の有効性の評価等をいただきまして、その後に各班で出された意見等を報告、全体で共有してまいりたいと思います。意見の報告も含めて午後8時ごろまでを予定しております。

引き続きまして議題2について、班ごとの審議でございます。今後取り組むべき事業ということで8時20分ごろまで各班でご議論いただき、その後各班で出された意見を報告していただきます。意見報告、共有も含め午後8時半ごろまでを予定いたしております。その後、区長よりコメントをいただきます。議題については午後8時35分ごろには終了しまして、引き続き区役所のほうから報告事項がございますので、その後、足高先生、金子先生よりご助言、ご意見をいただきたいと思いますと考えておりますのでよろしく願いいたします。

#### ○一本松副議長

それでは議題1について、資料「平成29年度天王寺区運営方針の実績・評価につ

いて」に従って、「自己評価結果の総括（概要）」を西山区長よりご説明いたします。  
なお、参考資料 1， 2 は説明を予定しておりませんが、議題（1）及び（2）の討議  
において参考にしていただければと思います。

それでは、西山区長よろしくお願いたします。

## ○西山区長

お手元のこの横長の資料の 1 ページから 4 ページについて私の方からご説明をさせていただきます。

まず表紙をめくっていただきまして 2 ページですけども、区の目標、一体何をめざしていくのかということをもとめております。区の将来ビジョンとしまして 5 つの項目、みんなの「思い」が区政に反映されているまち、未来を担う人材が育成されているまち、副題としまして、「日本一の文教『都市』の実現」をめざすと。それから、「命を守る政策」がしっかりと進められているまち、歴史的・文化的資産を活かして多くの人が集いにぎわうまち、「つながり合い、支え合い、助け合うまち」。この 5 つの柱に沿って 29 年度は取り組んでまいりました。

次のページなんですけども、まず、自己評価結果の総括（概要）といたしまして、この 1 年間で取り組んでまいりました成果を主にご説明します。まず、この区政会議ですとか、職員がいろいろなところに出向いて意見を伺っています「あなたの声をつなげ隊」ですとか、それから区民モニターアンケート等々活用いたしまして、区民のご意見を積極的に聞きして、集約しまして施策展開なり予算に反映してまいっております。具体例といたしましては、例えば、29 年度でしたら、子どもの居場所づくりの取組ですとか、保育の関係の利用者支援事業「保育コンシェルジュの導入」ですとかに取り組んでまいりました。

2 点目が、待機児童ゼロをめざしまして、公有地の活用を含めていろいろな手法を取り入れながら、区が主体的に保育園の増設に取り組まして、待機児童ゼロをこの 30 年 4 月に実現することができました。今後、また需要がふえてまいりますので、そ

れを見ながらいろいろな手法に30年度以降も取り組んでまいり所存でございます。  
よろしく申し上げます。

それから3つ目ですけど、子育てのスタートアップを応援する「子育てスタート応援事業」。これもぼちぼち定着してまいりまして、利用率も72.8%という利用率まで上げてまいりました。今後も堅調に推移させますように取り組んでまいります。

それから防災対策ですが、特に区内住居の85%を集合住宅、共同住宅が占めております。そういったところは、なかなか町会加入とかされていないお宅も多々ございますので、マンションの管理組合を対象としまして、学習会ですとか、出前講座とか、訓練ができるところは避難訓練を含めまして取り組んでまいっております。今後も、まだまだ未参加のところがございますので広げていきたいなと思っております。

それからシティ・プロモーションの関係で言いますと、真田丸が終わりまして、天王寺区の文化遺産、歴史資源って何があるのかなということで、28年度までは天王寺区単体で考えておったんですけども、やっぱりこの歴史というのは天王寺区だけじゃなくて、隣の阿倍野区ですとか住吉区、それから中央区なんかも同じような歴史を持っている部分がございます。4区でちょっと相談をしまして29年度は熊野街道歴史ウォークを2回に分けて実施しております。だいたい70人から100人ちょっと、それぞれの回に集まっています。それぞれ満足度をお伺いしましても、ほぼ100%近い、92%と98%の満足度をいただいております。30年度につきましても、今、別ルートで企画をしておりますので、またご紹介させていただきたいなと思っております。

それから、ページめくっていただきまして、自己評価結果の総括（まとめ）ということで、解決すべき課題と今後の改善方向という形で4項目載せさせていただきます。

まず1点目が高齢者、要援護者の増加が見込まれており、上町断層帯を抱えております天王寺区。まず区民の安全・安心の確保が最重要課題であると認識しております。



2点目は家庭での日ごろからの備えですね。自助を示す指標はどうしても目標を下回っておりまして、今回、先月の地震を機に防災マップですとか、家具の転倒防止ですとか、問い合わせがいろいろきております。この機を逃さず、また啓発に取り組んでいきたいなと思っております。

それから3点目が、高齢者を初めとしました要援護者の皆さんの見守り、支援体制の構築を通じまして、自助だけではなく共助の促進にもしっかりと取り組んでまいりたいと思っております。

それから併せまして、マンション、寺院、企業などこれまで個々での活動はしていただいていたんですが、横の連携がなかなか取れてなかったところについて、地域の資源という捉え方をした上で、地域の力を結集して防災力の向上に取り組んで、安心して住みたい天王寺区をめざしていきたいと思っております。

簡単でございますけども、自己評価の結果でございます。

#### ○一本松副議長

ありがとうございました。

ここからは班内の審議になってまいります。議員の先生方につきましては、よろしければ、いずれかの班に順次各班を回っていただき、意見交換の様子をごらんいただきたいと思えます。

それでは各班で進行をお願いいたします。

#### ○佐藤事業戦略担当課長

座席移動いたします、少しお待ちください。

(分科会討議)

#### ○佐藤事業戦略担当課長

それでは、各班集約が終わったようですので、簡単に各班で出た意見と評価シート

の結果ですね、共有させていただきたいと思います。

それでは、シティ・プロモーション班から順番に、記録係から発表の方、お願いします。よろしく申し上げます。

#### ○前田係長

シティ・プロモーション班のほうでいただきましたご意見についてご紹介させていただきます。

まず、経営課題1、職員力の向上につきまして、中野委員ほか2名の委員からご意見をいただいております。具体的にご紹介させていただきますと、中野佳弘委員からは、職員が民間企業で実際にインターンの形で働かせていただきまして、民間の方がされている企業努力などを現場で感じてみてはどうかというようなご意見をいただいております。中山委員からは、職員力の向上に当たりまして、まず知識の習得をすることと、あとは来場者の方をたらい回しするようなことが起こらないように事前の共有をしてみてもどうかというようなご意見をいただきました。

続きまして同じく経営課題1なんですけども、区政会議についても、中野佳弘委員からご意見をいただいております。区政会議、現在、全体の会議2回開催させていただいておりますけども、2回だけでは意見収集の機会とするのには少し少ないのではないかといったご意見をいただきました。

経営課題1につきまして、皆さんのお手元にあります評価シートで、経営課題1、「区民の声集約と反映プロセスの強化」につきまして皆様から評価いただいた結果を発表いたします。経営課題1の「区民の声集約と反映プロセスの強化」ができていると「思う」方につきましては、6名の方に挙手いただきました。また、「やや思う」という方は、1名挙手いただきまして、皆様肯定的なご意見の方をいただいております。

もう一つ、経営課題5につきまして、シティ・プロモーションに関するご意見の方をいただいております。こちらは吉田委員含め3名の方から意見をいただきました。

具体的なご意見ですけれども、真田丸（NHK大河ドラマ）が終わりました、次は四天王寺ですね、聖徳太子没後1400年に向けまして、天王寺地区のシンボルと申しますか、皆様が注目いただいているところですので、四天王寺さんを中心に、天王寺七坂を含め、地域の魅力を知ってもらう機会にしてみたいということでご意見の方をいただきました。

あと、天王寺地区の魅力を発信するに当たりまして、中野佳弘委員から中央区が作っているガイドブックのようなものをつくってはどうかというご意見をいただいております。同じくガイドブックにつきましては、竹田委員からも、天王寺地区でもガイドブックができないかというようなご意見もいただきました。

中野佳弘委員からは、熊野街道ウォークを現在開催しているんですけども、ウォークイベントだけで区の魅力全てを知っていただくことはなかなか難しいのではないかなというようなご意見の方をいただいております。

経営課題5につきまして、区政会議委員評価シートの、皆様の評価を発表させていただきます。経営課題5、「戦略的なシティ・プロモーションの推進」です。こちらは、歴史的・文化的資産を活かして多くの人が集いにぎわいあるまちづくりができていくかというような項目になっておりまして、こちらは、「思う」と思われた方が5名回答をいただいております。「やや思う」と回答をいただいた方は1名。「あまり思わない」回答いただいた方は1名になっております。

シティ・プロモーション班からの発表は以上です。ありがとうございました。

#### ○尾古貴企画総務課長代理

続いて、子育て・教育班でございます。

子育て・教育班につきましては、29年度の運営方針の実績評価についてご説明させていただいた後、意見というよりも、たくさんのご質問をいただいております。各事業における対象者数とか参加者数何人かとか、それに対して何世帯参加したとかをお答えさせていただきまして、意見としましては平嶋委員から、「日本一の文教『都

市』』ということで、それを「つなげ隊」とか「区民モニター」とかでもいいんだけども、区民みんなにどうしたらいいのかというのを広報紙なり、そういうところで聞いていったらどうなんだというご意見をいただいております。

あと、井川委員から、個別指導天王寺塾のことで、塾代助成がどうしても中学生対象だけなので、やはり学習習慣を身につけるためには、できれば小学生からを対象を広げていただいたほうがいい、拡大すべきではないかというご意見もいただきました。

あと、保育所の待機児童のこととかいろいろご質問をいただいて、企業主導型保育所は何カ所あるのかとか、いろいろお聞かせいただきまして、お答えはさせていただいております。

最後に区政会議委員評価シート、子育て・教育班としては経営課題2、「日本一の文教『都市』」をめざした人材育成の取組がめざすべき将来像の実現に有効であったか、そうでなかったかというところで決をとりましたところ、4番の「思う」が一人。それから、「やや思う」が4人で、8人中5人がそう思う、将来像の実現に有効であったという風に意見をいただいております。「あまり思わない」、「思わない」の方がそれぞれお一人ずつで、お一人の方はまだちょっとわからないというお答えでございました。

子育て・教育班の報告は以上でございます。ありがとうございます。

#### ○平嶋委員

補足やけど、「日本一の文教『都市』」ね、これをつくるにはどうしたらいいのかというのをやっぱり広く聞くべきやと。

#### ○尾古貴企画総務課長代理

広く聞くべきだということですね。

#### ○平嶋委員

そういう施策も含めて。

#### ○大槻係長

続きまして、経営課題3、地域福祉・健康班の発表をさせていただきます。

まず、ご意見ということで、菊山委員から、町会と連携をしてかないと高齢者の状況把握がより詳しくできないのではないかとのご意見をいただきました。

あと三浦委員ほか1名の委員から、高齢者施設がもっとあったらいいんじゃないか。特養が少ないので土地活用を考えていただきたいというようなご意見をいただいております。

それと、片岡委員ほか1名の委員の方から、例えば、百歳体操につきまして、スポーツ推進委員との連携とかがとれてないんじゃないか。そういった団体に活動している人を活用したらいいのではないかとのご意見をいただいております。

あと江畑委員から、役所で持っている独居高齢者の情報など、個人情報の問題がありますけれども、活用できるところは活用していったらいいのではないかとのご意見をいただいております。

三宅委員からは、要支援者名簿への登載に同意して見回りを希望する人が450人（平成29年度）いるということで、そのつながりがありますので、その方達のご意見とかもっとあればいいのではないかとご意見をいただいております。

あと、松下尚生委員からは、資源を戦略的に活かして行って、取組自体は良いが、高齢化社会がどんどん進んでいくので、このペースで追いついていけるのかというようなご意見を頂戴しております。

経営課題3についての区政会議委員評価シートですけれども、有効であったかどうかということで、「思う」が1名、「やや思う」が4名、「あまり思わない」が2名、「思わない」が0名ということで回答の方をいただいております。以上になります。

#### ○福田係長

続きまして、地域社会づくり班でいただきましたご意見について報告します。

まず、経営課題4、地域の力を結集した「防災力」向上の取組につきましていただいたご意見ですが、原田委員より、マンションエレベーター管理について、今回の地

震につきましてマンション内のエレベーターの管理について不安を抱かれていたということで、管理組合に対して区のほうから指導をしてほしいというようなご意見をいただきました。マンションのエレベーターの管理につきましては、ほか2名の委員からご意見をいただいております。

続きまして、田中委員より出前講座に関してですが、実際実施する際に民生委員の方に地域の方と実際の住民の方をつなぐ意味合いで、民生委員の方にも地域の方にも声をかけていただきたいというふうなご意見をいただきました。

続きまして、経営課題6の大きな公共を担う活力ある地域社会づくりにつきまして、小野委員より、安全・安心につきましては高齢者から子どもまでいろいろな年代、校区全員で取り組むことであるので、そういう全員参加できるような仕組みをやってほしいということでご意見をいただきました。

続きまして、地域社会づくり班が担当する経営課題につきまして、天王寺区区政会議委員評価シートによる評価結果をご紹介します。経営課題4、地域の力を結集した「防災力」向上の取組について、取組内容がめざすべき将来像の実現に有効であったと「思う」と感じられる方はいらっしゃらなかったのですが、「やや思う」と思われる方が3名、一方、「あまり思わない」と感じられた方は3名、「思わない」と感じられた方は1名でした。

続きまして、経営課題6、大きな公共を担う活力ある地域社会づくりにつきまして、取組内容がめざすべき将来像の実現に有効であったと「思う」方はいらっしゃいませんでした、「やや思う」と感じられた方は3名、「あまり思わない」と感じられる方は3名、「思わない」と感じられる方は1名でした。報告は以上でございます。

#### ○佐藤事業戦略担当課長

ありがとうございました。

それでは、お時間かなり押しております。引き続きまして、議題2、今後取り組むべき事業について、また班ごとの審議を進めていきたいと思っております。初めての方もい

らっしゃいますので簡単に説明を申し上げます。

昨年度もこちらに関してはグループ討議の方をさせていただきました。来年度すぐ実施するという事に限らず、今後区が取り組むべきこととして皆さんが関心を持っておられることについて、幅広くご意見いただいてまいりたいと思います。今回テーマ別の班編成となっておりますので、まずは担当するテーマについて、来年こんなことをやったらいいんじゃないか、これを改善したらいいんじゃないというようなアイデアをいただきまして、そういったご意見が出尽くしましたら分野を問わず広くご意見頂戴してまいりたいと思います。

司会進行は、引き続き、各班の事業を所管します各課長、各課長代理が進めます。記録係も同じく務めさせていただきます。議員の先生方につきましては、引き続き、いずれかの班、または順次各班まわっていただきまして意見交換の様子をごらんいただけたいと思います。当初の予定からかなり押しておりますので、少し時間のほうを延長させていただきます、だいたい議論を40分ぐらいまで各班で意見交換していただきまして、45分ぐらいまでに情報共有をさせていただきたいと思います。

それでは40分まで自由にさまざまなご意見頂戴したいと思いますので、各班での進行をよろしくお願いします。

(分科会討議)

#### ○佐藤事業戦略担当課長

それでは、順次発表させていただきたいと思います。

それではまず、シティ・プロモーション班の方から発表させていただきます。

#### ○前田係長

シティ・プロモーション班です。次年度以降、取り組んではどうかというような事業についてご意見の方をいただきました。

まず、情報発信ということで中野佳弘委員から、現在、皆さんスマートフォンをお持ちになられて、利用されている方が多いので、スマートフォンを活用した広報を行うことによって区民の方にとって情報も入手しやすいですし、区役所にとって経済的ですごく便利なものになるのではないかというご意見をいただきました。

竹田委員からは、フェイスブックで情報発信はしているよということも教えていただき、皆さんと共有いただきまして、あと、LINEを天王寺区の方で昨年度から始めているんですけども、まだご存じでない方もたくさんいらっしゃいますので、LINEのお友達登録からしていただくことについて、もっと周知、区役所庁内での周知ももっと必要なんじゃないかというようなご意見をいただいております。

あと、その周知に関してなんですけども、天王寺区内にクレオ大阪の施設（クレオ大阪中央）がございまして、立派な施設でホールもありますし、図書館もあるような施設になっているんですけども、皆さんにもっと身近な施設としてご利用いただくような取組ですね、区役所でもクレオを活用した取組をしてはどうかというようなご意見の方を、中野浩志委員からいただいております。それに関しまして、竹田委員から7月29日、天王寺フィルハーモニーの演奏会が開催されますので、皆さんぜひお越しくださいということで教えていただきました。区で実施しているイベントなんですけども、吹奏楽フェスティバルというのを同じくクレオ大阪中央で行っておりまして、なかなか吹奏楽関係者の方にしか知られてないんじゃないかというようなご意見も吉田委員からいただいております。たくさんの方が参加いただく、中学校、高校の生徒さんがすごく活躍されるような吹奏楽のコンサートになっていますので、区民の皆様にもっと来ていただけるように周知を強化してはどうかというようなご意見をいただいております。

あと、情報発信の方は、竹田委員から先ほどもありました中央区でつくっているようなガイドブック、天王寺区の魅力を発信するようなガイドブックをさらに充実させてほしいというご意見をいただいております。



あとは、にぎわいづくりのところで、中野佳弘委員から空き家対策としてクリエイティブなお仕事、デザイナーとかそういったクリエイターの方を誘致、空き家を活用していただけるような事業者誘致をしてはどうかというようなご意見をいただきました。

あとは、マンション防災の関係になるんですけども、中野佳弘委員からご自身もマンションの管理組合でご活躍されているようで、まずマンション管理組合、天王寺区内にたくさんマンション建っておりますので、マンション管理組合同士のつながり、横の情報共有であったりとか、いろいろな連携ができるような機会があればよいのではないかと、そのつながりづくりにつながるような取組を区でやってはどうかというご意見の方をいただいております。

あと、竹田委員からは、それに関しまして、マンション管理組合がもっとつながりあって、連合ぐらいの単位で、組織と言いますか情報共有会みたいなことができれば、皆さん同じ地域にお住まいですので、つながりづくりから自助共助というような形で、より防災力の強化につながるのではないかとというご意見の方をいただきました。

あとは、吉田委員から、ちょっとまたにぎわいの方に戻りますが、天王寺区内だと、「てんしば」をすごくたくさんの方がご利用いただいているかと思うんですけども、区の資源の1つで、魅力資源の1つでもありますので、「てんしば」の活用もぜひ区の方で検討していただきたいということと、外国人の方がたくさん天王寺区内に訪れていますので、ガイドマップ、真田丸の地ガイドマップというのを天王寺区でつくっているんですけども、そういったものの翻訳が必要なのですが、外国人の方でも使っていただけるようなガイドマップにすることで、てんしばからもっと足を延ばして、四天王寺さんとか真田山の地域の方とか、いろいろ天王寺区を回っていただけるような機会になるのではないかとというようなご意見をいただいております。以上になります。

○尾古貴企画総務課長代理

では続いて、子育て・教育班、時間押していますので、もうちょっと簡単にご報告させていただきます。

子育て・教育班ということで、子育ての方で言いますと、まず保育内容、保育士の充実、待機児童ゼロということで保育所をたくさんつくっていただいてありがたいけども、その保育内容と保育士の充実が大事ではないかというご意見を山崎委員からいただいています。

それから、子育てということで、子育てサークルとかひとり親家庭の児童への参加に当たりまして、本当に来てほしい人に参加いただけない、裕福な方が来られて楽しく過ごしていらっしやるとかいうケースが多いんだけども、本当に手を差し伸べなければいけない、子育てをしていかなあかんという家庭なりそういう人たちがどうしたら参加していただけるのかを考えていくべきではないかというご意見を一本松委員からいただきました。

辻委員からは、子どもの福祉、虐待があった場合など、相談窓口をもっとPRしていく、つまり区役所からの情報発信ももっと必要ではないかということと、それから頓名委員からいただいたんですけども、もっと天王寺区、いろいろたくさんマンションとかあるので、お年寄り、老人の方にいっぱい来ていただいて、そういう人たちが子どもの面倒を見るのだというところから支え合う社会を見詰めていく。つまり、そのお年寄りに支えられた子どもたちが、地域の人に僕らは育てられたんだという思いを持つことによって、その子が大きくなったらまた子育てに力を入れていってくれるんじゃないかというご意見をいただいています。

続いて、教育の方なんですけども、平嶋委員からは、やっぱり「日本一の文教『都市』」のあり方、作り方を、どうして作っていくべきなのかを、もっとみんなにたくさん聞いていくというところが大事ではないかというご意見をいただきました。

それから、文教都市、天王寺区は高校生が多いということで、学校や学生が地域と連携・協力して取り組んでいる事例が多くある。状況の見える化というのか、そうい

う高校生がいるというのをもっとアピールしていくべきではないかということと、学力、英語だ何だって言ってますけども、文化面の底上げ、例えばミュージカルとか、そういう文化的なものの底上げもやっていくべきではないかというご意見をいただいています。

それから、出水委員からは、ジュニアクラブの事業、せっかくいろいろな年代の子どもたちが集まるのであるから、そこでそういうグローバル人材育成事業とかイノベーション人材育成事業とかをやっていけば事業の集約化もできるし、ジュニアクラブを活用してやっていけばいいのではないかというご意見をいただいています。

最後、やっぱり経験を重要視することで、海外留学をしていく事業も大事ではないかということをお井川委員からいただいております。

ちょっとすみません、いろいろな意見が出てまとめるのが大変だったんですけど、以上でございます。

## ○大槻係長

続きまして、地域福祉・健康班のご意見について発表したいと思います。

高齢者見守りサポーターに関するところで、三宅委員から、例えば、小さい子とその親が、ついて行ったりしたら、話も弾むのではないかなというようなご意見をいただいております。

上戸委員からは、見守りの報告を役所の方にしなくていいというようなことを耳にしたことがあるということで、そういった報告は大事なんじゃないかなというご意見をいただいております。

あと、「いきいき百歳体操」の関係で、菊山委員から、3カ所ではちょっと少ないということで、近くにちっちゃくてもいいので拠点があればもうちょっと行きやすいのではないかなというご意見をいただいております。

あと、どうしてもこの経営課題3につきましては高齢者の取組が中心になってくるんですけど、健康分野もあるということで、松下尚生委員からは、もちろん高齢者も

大事なんです、若年層にも目を向けていくべきではないかというご意見をいただいております。関連しまして、菊山委員からも、昼間にかん検診に行けない若い人のために、例えば、土日祝や夜に受けれたらいいのではないかなというご意見、あと、江畑委員からは、現役世代の人材育成ですね。そういった若い人への啓発とかが必要ではないかというご意見をいただいております。

あと、防災の関連なんですけれども、例えば、防災訓練など、区で取組をしていますが、できないことについては、連合の班ごとに取り組んだらいいのではないかと三浦委員から意見をいただいております。

菊山委員からは、町会や地域団体に情報をもっと共有できるようにしたらなおいいのではないかというご意見、あと、松下尚生委員からは、行政からの働きかけ、訪問とかチラシとかそういったことの地道な取組が必要ではないかというご意見をいただいております。以上です。

#### ○福田係長

続きまして、地域社会づくり班でいただきましたご意見につきまして報告させていただきます。

まず、経営課題4の地域の力を結集した「防災力」向上の取組に関連してですが、まず、自助の取組に関してのご意見としまして、原田委員より、災害時に自身が何をすればいいのか、災害グッズにどういうものがあるのかわかるようにしてほしいというご意見をいただきました。

また林委員からは、マンションに今お住まいの高齢者ですね、エレベーターがとまると移動ができないということですので、エレベーターが停止してしまったときに備えての取組を考えるべきというようなご意見をいただきました。

また、公助の取組についてですが、小野委員より、上汐駐車場（地下駐車場）を災害時の避難所にできないかというようなご意見をいただいております。また、それに関連してですが、萱野委員より区内の大きな寺院である四天王寺を避難所にできるよ

うに取り組んでいただけないかというご意見をいただいております。

あと、災害時の広報に関してのご意見としまして、松下正克委員より、災害時の交通規制を行う避難路についてもわかりやすくマップなどで知らせるべきということと、その役割ですね、車が通れば人も通れるということもあまり知られていないということですので、そういったことも含めて知らせるべきというご意見をいただいております。

また、一時避難所というのはそもそもどういう意味か、どういうときに避難するところなのかは伝わっていないということですので、そういったこともわかりやすく伝えるべきというご意見もいただきました。それに関連しまして、中谷委員より避難所の紹介についてわかりやすくするべきというご意見がありまして、具体的に自身がどこに避難するのかわかるようにということでご意見をいただいております。それに関連してですが、区の広報板についてもわかりやすい場所に設置してほしいというふうにご意見をいただいております。またこれに関するご意見としまして、林委員より、地域の防災マップをお配りしているんですけども、それがそもそも知られていないということが現状ありまして、そういったことの問題があるということでご意見をいただいております。

また松下正克委員より、災害発生時の区役所の職員参集体制について、どこにも知らせている場所がないということですので、それについても知らせてほしいというご意見をいただいております。

最後に、区政会議の運営に関するところにも関わってくるんですけども、萱野委員から、区政会議のメンバーに防災の話を区政会議の場で行うのであれば、警察消防関係者も入っていただくべきというようなご意見をいただいております。

また、防災に限らずということなんですけれども、林委員より、区政会議のメンバーについて、全ての地域の方はいらっしゃらないのではとご意見いただいております。また、来られてない方や来られていない地域の方にも区から働きかけて選出していただ

けるようにしてほしいというご意見をいただいております。以上です。

○佐藤事業戦略担当課長

ありがとうございました。

それでは、ここで議長、副議長、事務局、もとの席に戻ってください。

○一本松副議長

皆様、お席にお着きになりましたでしょうか。

それでは、西山部長よりコメントをいただきます。

○西山区長

皆様お疲れさまでございました。時間も押していることなので、ごくごく簡単にコメントをしたいと思います。

防災から子育て、それから高齢、見守り等々、いろいろな意見なりご提案なりいただいています。その中でやっぱり一つ、一番ひっかかったのが、子育てにしても保育所にしても、見守りにしても、本当に必要な人のところに必要な手が届いてないんじゃないかっていうご意見というか、気がしましたので、今後、どういう工夫をすればそういったところに手が届いていくのか、皆さんの意見をいただきながら工夫していきたいなと思っております。以上です。

○一本松副議長

西山区長、ありがとうございました。

議題につきましては、以上で終了とさせていただきます。

ここで区役所に進行をお任せいたします。

○佐藤事業戦略担当課長

ありがとうございます。

小野議長、一本松副議長、また、委員の皆様、多くのご意見いただき、誠にありがとうございました。

ここで区役所より提案がございますので、西山区長よりご説明申し上げます。

## ○西山区長

一点、提案と言いますか、前回の区政会議で天王寺区の地域福祉ビジョンの策定をしないかということ、それに対して区政会議としての意見をいただきたい。

また、天王寺・阿倍野エリアにおける路上喫煙対策の検討等、個別課題が出てきております。これにつきましては、地域福祉ビジョン検討部会なり、路上喫煙対策部会を立ち上げさせていただきたいと思っております、それぞれ地域福祉・健康班の皆さん、それから路上喫煙対策についてはシティ・プロモーション班の皆さんにご参加いただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

個別の中身については担当課長より、それぞれ簡単に説明させていただきます。

## ○佐藤事業戦略担当課長

大島課長、お願いします。

## ○大島保健福祉課長

保健福祉課長の大島でございます。

地域福祉ビジョンに関しまして、ご説明の方をさせていただきます。すみませんが、座って説明させていただきます。

それでは、本日、資料をお配りしております「天王寺区地域福祉ビジョン（案）の策定について」という2枚ものの用紙と、もう一点、「大阪市地域福祉基本計画（概要版）」というコピーの冊子がありますけども、この2つのご用意をよろしく願いいたします。

ご用意できましたでしょうか。それでは、天王寺区地域福祉ビジョン（案）の策定について、ご説明をさせていただきます。

資料2枚もの方をごらんください。

天王寺区における地域福祉の取組につきましては、「天王寺区将来ビジョン」のもと実施しております。具体的な行動計画としましては、本日も協議させていただきました天王寺区運営方針で目標を定めまして、PDCAサイクルを行いながら事業の推

進を図っているところでございます。

一方、大阪市におきましては、区の地域福祉計画ということで地域福祉ビジョンを支援する計画として、「大阪市地域福祉基本計画」がこの4月に策定されたところでございます。それが、この冊子の方になっております。このため、天王寺区におきましても、「大阪市地域福祉計画」に基づく地域福祉ビジョンというものを策定する必要がございます。昨年度の区政会議におきましても、天王寺区地域福祉ビジョンの策定に当たっては、区政会議に検討部会を設置して実施してまいりたいということで報告させていただいたところです。今後の具体的な進め方につきましては、次のとおり実施してまいりたいと考えておりますので、下の方をごらんください。

まず、検討部会を設置ということで、先ほどもご説明させていただきましたけども、区政会議の地域福祉・健康班の委員をもって、地域福祉ビジョン検討部会を設置してまいりたいと思っております。なお、地域福祉ビジョン作成の事務局としましては、地域福祉を担当する保健福祉課と、区役所と協働で活動されている天王寺区社会福祉協議会につきましても参加をしてまいりたいと考えております。

スケジュールですけれども、1枚めくっていただきましてA4横の「今後のスケジュール（案）」をごらんください。

まず、上段がビジョンの策定作業、下段が区政会議・検討部会の予定を表しております。まず、この平成30年4月に大阪市の地域福祉基本計画が施行されまして、天王寺区の地域福祉ビジョンを策定するに当たりまして、本日の区政会議におきまして検討部会を設置していくところでございます。

その後、地域福祉ビジョンの素案を事務局において作成作業に入っていきます。併せて、区役所内の関係所轄の方とも調整を実施してまいります。

10月ごろに検討部会の第1回を開催いたしまして、事務局より素案を提示させていただきます。その素案に基づき、今後の方向性、内容等につきまして意見集約となつてまいります。



1 2月ごろにまた開催されますこの区政会議（本会議）におきまして、その検討状況につきまして報告を行いつつ、一方で素案の修正作業等を進めてまいりたいと思っております。

3月ごろを目途に、検討部会第2回目を開催いたしまして、ビジョンの最終案を取りまとめていきたいと考えております。

その後、31年4月ごろには、最終案につきましてパブリックコメントを実施し、意見集約を図った上、来年度、ちょうど一年後になりますけども、区政会議（本会議）におきまして報告し、天王寺区地域福祉ビジョンの策定、施行という風に進めてまいりたいと考えておりますので、ご協力の方、よろしく願います。

続きまして、今回策定する天王寺区地域福祉ビジョンの内容等につきましては、資料の次のページをごらんください。

「天王寺区地域福祉ビジョン策定にかかる構成（案）」とさせていただきます。今回策定するビジョンの構成といたしましては、概ねこの4つの構成を考えておりました。1つ目、「天王寺区地域福祉ビジョンの作成にあたって」ということで、この策定における背景と経過を盛り込んでいきます。このビジョンにおける位置づけ等についてもここで明記させていただきます。

2つ目としまして、「天王寺区の地域福祉の現状と課題」ということで、「天王寺区の概況」、「区の概況、区の特長」といったものを示しながら天王寺区の現在の地域福祉の現状をここで書かせていただきます。「高齢者、障がい者、子育て関連施策の状況等」などをここで、現状を写していくというものでございます。その中で、地域福祉の課題を浮き彫りにさせていただきたいと思っております。例えば、独居高齢者や要援護者の方の見守りであったりとか、地域福祉活動の人材確保等なんかがここで課題として挙がってくるかと考えております。

3点目につきましては、天王寺区地域福祉ビジョンの理念、方向性ということで、こういった課題をどういった方向へ向けていくかということで、まず基本理念、基本

方針を定めていきます。ここでは「誰もが自分らしく安心して暮らし続けられる地域づくり」ということで、「大阪市地域福祉基本計画」より抜粋しておりますけれども、これの天王寺区版の基本理念、基本方針を定めていく形になります。先ほど出てました課題における解決に向けた方向性について取り組んでまいるということをここで書かせていただきます。例えば、今現在行っている独居高齢者等見守りサポーター事業の実施であつたりとか、地域における要援護者の見守りネットワークの強化学業の実施、また、健康体操の普及、地域包括ケアシステムの構築など、実際に取り組んでいく方向性をここに書きこんでいきます。

4点目としましては、そういった部分につきましての基礎資料ということで、人口動態、高齢者・児童・障がい者等の福祉関連データ等をここにまとめていきたいと考えておりまして、これに基づきやっていきたいと思っております。具体的にどういったものになってくるかといいますと、「天王寺区将来ビジョン」の地域福祉版と考えていただければイメージしやすいと思っております。

今後、この検討部会に参加される地域福祉・健康班の皆さん方をはじめ、区政会議の委員の皆さんにおかれましては、この天王寺区地域福祉ビジョンが天王寺区の将来にわたり、地域福祉推進のため、よりよりものとなりますように、ご理解、ご協力を今後ともよろしくお願いしたいと思います。

私からの説明は以上にさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

#### ○佐藤事業戦略担当課長

次、路上喫煙対策部会につきまして、担当課長の川島よりご説明申し上げます。

#### ○川島企画総務課長

企画総務課長の川島と申します。

シティ・プロモーション班の方でご議論いただきたいと考えております路上喫煙対策の件につきまして、すみませんが座ってご説明させていただきます。

資料はその後ろにつけておりますけれども、カラーでプリントしております「路上

喫煙禁止地区です」と書いておりますクリップどめした資料一式なんですけれども、そのカラーのプリントの後ろに、資料1ということで、「路上喫煙対策に関する取組状況について」の資料からご説明させていただきます。

こちらに書いておりますけれども、大阪市の方で、「大阪市路上喫煙の防止に関する条例」というのが施行されましたのが、平成19年4月ということになっておりまして、これに基づきまして、市の審議会であります路上喫煙対策委員会が設置されております。「路上喫煙禁止地区」の指定又は変更若しくは解除、並びに路上喫煙防止にかかる重要事項の調査審議を行っているところです。

そもそもなんですけれども、路上喫煙対策に取り組みだした意義と申しますか、きっかけと申しますか、資料2の冒頭に書いておるんですけれども、たばこの火による火傷、火災を防止するという「安心、安全」の観点、たばこの煙による健康被害を抑止する「健康」の観点、たばこの吸い殻のポイ捨てを防止する「まちの美化」の観点でございます。

まず、最初に禁止地区が指定されたのが平成19年7月、御堂筋及び大阪市役所・中央公会堂周辺地域でございまして、同年10月から過料徴収1,000円がスタートしたところでございます。過料の徴収に当たっては所管する環境局が警察OBを雇用し徴収に当たっておりまして、これまで約11年ほどスタートから経過しておりますけれども、累積で7万件以上、金額にすると7,000万以上を徴収してきておると聞き及んでいるところです。

平成20年度からは、「たばこ市民マナー向上エリア制度」という全国で初めての制度なんですけれども、これは地域の市民・事業者等が主体となりまして、自主的に路上喫煙の防止活動に取り組んでいくということで、自主的な啓発活動等を行っていたおる全国初の取組ということで、当区の場合は天王寺駅周辺エリアで、地域住民の方というよりも事業者の方なんですけれども、2団体が活動しておられるところです。

その後、地域から熱心なお声が上がってきたということをお聞きしておりますけれども、都島区において路上喫煙対策について検討され、平成27年2月に京橋地域が新たな「路上喫煙禁止地区」として指定されたというところで、それがこのカラーのプリントで示されておるエリアでございます。

実際に「路上喫煙禁止地区」として指定運用されているのは以上となりますが、現在、中央区の戎橋筋、心斎橋地域の「路上喫煙禁止地区」指定について路上喫煙対策委員会にて審議がなされておるところです。

以上が、本市における路上喫煙対策に関する大まかな取組経過でございますが、その裏面に、本市に寄せられました路上喫煙に関する苦情・要望等の広聴件数を記載しております。

29年度が昨年12月までということになっておるんですけれども、年々路上喫煙対策の強化を望む声が増えてきておるといふ状況でございます。

次に資料2のほうをごらんください。

1ページ目は先ほど申し上げました路上喫煙禁止の意義ですので、2ページ目、「路上喫煙禁止地区」の指定候補となる地域ということで記載しております。

禁止地区にかかる考え方について、路上喫煙対策委員会の答申として出されたものでありまして、迷惑や危険を及ぼす地域、通行者数が多い地域、PR・抑止効果が高い地域、明確性を確保できる地域となっておりますが、こちらは現在、本市が新たに禁止地区を指定するに当たっての基本的な考え方となります。特にここ数年、外国人観光客を中心に大阪に来られる方が年々ふえてきておるといふ状況のもと、観光客や通行者が多いエリアを「路上喫煙禁止地区」として指定すべきとの議論がなされているところでありまして、先ほど申し上げました中央区の戎橋・心斎橋筋や天王寺駅周辺などが検討対象とされているところなんです。

次に3ページなんですけれども、禁止地区指定に向けての今後の進め方を記載しております。

路上喫煙対策委員会に諮問する前に区としての考え方を整理するよう求められておりまして、禁止地区案や喫煙所をどこに設置するかなどの考え方を決定するに当たり、部会でご意見をいただきたいと考えておるところでございます。部会の回数を2回ほど想定しておりますけれども、ご議論いただいた結果を、12月に予定しております次の区政会議（本会議）にてお示ししたいと考えておるところです。なお、天王寺駅周辺地域での指定となりますので、当然のことながら、阿倍野区エリアにつきましては阿倍野区で当区同様、区政会議での議論を経て区案を決定する段取りとなりますので、阿倍野区とは情報交換、情報共有をしながら進めていくこととなります。

その後、路上喫煙対策委員会での審議と、これに並行してのパブリックコメントなどは、所管する環境局が事務局として進捗管理を行い、禁止地区を決定し、禁止地区を明確にするための路面シールや看板等の表示物の設置や、広報活動に取り組んでまいります。

実際の指定運用開始につきましては、路上喫煙対策委員会の審議経過にもよりますが、現在進行形の中央区の予定を参考に2020年2月ですね、再来年2月が一つの目途と考えておるところです。

以上、本市における路上喫煙対策にかかる取組経過や今後の進め方等についてご説明申し上げました。どうぞよろしく願いいたします。

## ○西山区長

今回設置します2つの部会についての説明は以上です。

ただ、今後個別の課題として出てくると思われませんが、今現在、教育に関して天王寺区教育会議の場で保護者の方とかほかの地域の皆様のご意見をお聞きして進めておるんですけども、この会議が設置から今年度末で丸4年を迎えることとなります。今後の教育会議の運営のあり方とか効果的な教育に関する意見聴取のあり方なんかを今後検討、今年度末までに進めていきたいなと思っております。その際には、この区政会議の子育て・教育班の皆さんにご協力、ご参画等をお願いしたいと考えておりま

すので、また改めてお願いしたいと思っております。

それともう一点、部会の議論もあるんですけども、今回班ごとの4班に分かれての議論ということでもありますし、もっと自由にざっくばらんに意見交換ができるようなラウンドテーブルなんかも年に一回ないし二回いけるかどうかというところだと思いますけども、そういうのも企画していきたいと思っておりますので、またご協力いただけますようによろしくお願いいたします。私からは以上でございます。

#### ○佐藤事業戦略担当課長

本日ご提案いたしました地域福祉ビジョン検討部会、路上喫煙対策部会につきましてご異議ございませんでしょうか。

よろしいでしょうか。皆様ご了承いただきました。ありがとうございます。

なお、子育て・教育に関する個別課題への対応ですとか、ラウンドテーブルの開催等につきましては、また改めてご相談申し上げますので、よろしくお願いいたします。

区役所からの報告は以上とさせていただきます。

かなり時間押してしましまして申し訳ございません。最後になりますが、本日ご出席の足高議員及び金子議員から一言ずつご助言いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

#### ○足高議員

皆さん、今日本当にご苦労さまでございました。今日、この4つのテーブルと言いますか、このグループごとにお話を横からお聞かせいただいたり、いろいろしたんですけども、一部の方々がしっかりといろいろなご意見をおっしゃっていたのはよくわかったんですけども、それについての回答の方が、行政の皆さん方がよく理解しなかった点が非常に多かったのではないかなという感じがいたしました。

やっぱり、いろいろな面で行政自身ももっと皆さんに伝えなあかんことが抜けている。実際は防災にしてもいろいろなことをやっている。先ほどちょっとマンションのお話もありましたけど、やはりここの、俗に言う危機管理室なんかは、あるところの

マンションにはできるだけ行って防災の講座をしているんですよ。そんな話、今日どこも出てこないでしょう。本来やっているとこはしっかりやって、皆さんと一緒に広げていっているということ、例えば、その天王寺の中でも我々の真田山地区で言うたら、明星であるとか、あるいは公立の高津高校、こんなところでも場所を借りてやっているんです。そういうことが天王寺区でいっぱいされているにもかかわらず、そんな話も本来皆さんにお答えしなあかんことがどこも聞こえてこない。それはほかの案件も全部一緒なんです。皆さんは一生懸命質問されていて、部分的に理解されているんでしょうけども。

例えば、見守りもそうなんです、今回この間の地震のときに、民生委員さんはいろいろなお年寄りを見守らなあかんからって一軒ずつ行かれていますのはご存じですか。知らんでしょう。それを皆さんが、行政の皆さんは、皆さん方にそれをお知らせしないかん。今回の話もこうやっっているいろいろなチームをつくってよかったんですけども、ただ、聞かれたときに正しく答えてないというのがたくさんありました。とって、僕が答えるわけにはいかなのでそれはあんまり言いませんけども、現実に私がそれを知っている部分があれば、現実にその地震のときもいろいろな民生委員さんから聞いたお話でそういうことが現実に行われているのはよくわかりました。それらをもっと広げていくことが、これからこの会議の中でも必要ではないかなと思っていますので、皆さんがしっかりとこれからも意見を言うていただいて、行政の皆さんから正しい方向、正しい答えというのを引きずり出してほしいと思いますので、これからも大変ご苦勞さまですけれども頑張ってくださいように、心からお願い申し上げます。今日は本当にどうもありがとうございました。

#### ○金子議員

皆さん、長時間お疲れさまでした。今回こういった形で4つの部会に分かれてお話していただいたというのが初めての取組だったので、行政側の人たちもいろいろ戸惑ったこととかもあったと思うんですけど、今後また改善されるとは思いますが。

私がちょっと一件、あちこち見せてもらって思っていたのが、やっぱり委員の皆さんの興味深いところ、専門性の高いところで議論されているので、今までの全体を大ざっぱに議論されていたよりも、すごく深い議論になったんじゃないかなと思いました。すごくいい取組だなと思っておりますので、また今後もこれをどんどんいい方向に進めていけたらなと思っております。

あと、長くなってすみませんが、一つだけ思ったのが、やっぱりいつも思うことなんですけども、行政側はすごくいい事業をいっぱいやっているんですけれども、これについてあっちこちで言われていたのが、本当に必要なところにその事業が届いてないというところなんですけども、何がやっぱり大事なのかというのは発信力だと思うんです。行政側も一生懸命発信をしているんですけれども、なかなかリーチして掴んでしてもらわないといけないところとかがあって、若い人にはやっぱりネット環境、そしてお年寄りの方々は広報紙、広報板という形で行政側も頑張っているんですけれども、今回またLINE@というのが天王寺区でできたということなので、また一つツールができたのかなと思っています。この発信については今後も宿題だと、課題だと思って行政側も頑張ってまいりますので、皆さんもともに頑張ってくださいますようによろしくお願いいたします。本日は本当に長い間お疲れさまでした。

#### ○佐藤事業戦略担当課長

足高議員、金子議員、ありがとうございます。小野議長、一本松副議長、また委員の皆様、多くのご意見をいただき、また長時間、まことにありがとうございます。

それでは以上をもちまして、平成30年度第1回天王寺区区政会議を終了させていただきます。

お手元の「天王寺区区政会議委員評価シート」、記入済みの場合にはお帰りの際、受付担当の方にお渡しください。後日、提出される場合は返信用の封筒をお渡しいたしますので、お申し出ください。またメールで提出いただくことも可能ですので、メールで提出の場合はそれで結構でございます。



それでは、お忘れ物のないようお気をつけてお帰りくださいませ。本当に長時間ありがとうございました。

—了—